

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公表番号】特表2002-503228(P2002-503228A)

【公表日】平成14年1月29日(2002.1.29)

【出願番号】特願平10-550697

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 223/14

A 6 1 K 31/475

A 6 1 K 31/55

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00

C 0 7 D 223/32

C 0 7 D 401/06

C 0 7 D 487/04

【F I】

C 0 7 D 223/14

A 6 1 K 31/475

A 6 1 K 31/55

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 223/32

C 0 7 D 401/06

C 0 7 D 487/04 1 3 7

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月23日(2005.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17.5月23 日

特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第550697号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 ザ スクリップス リサーチ インスティテュート

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正対象書類名 明細書

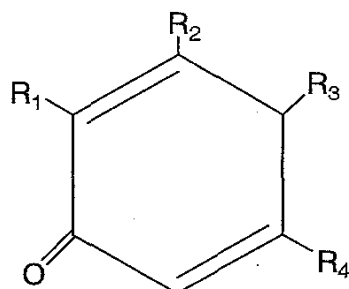
6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容 別紙記載の通り



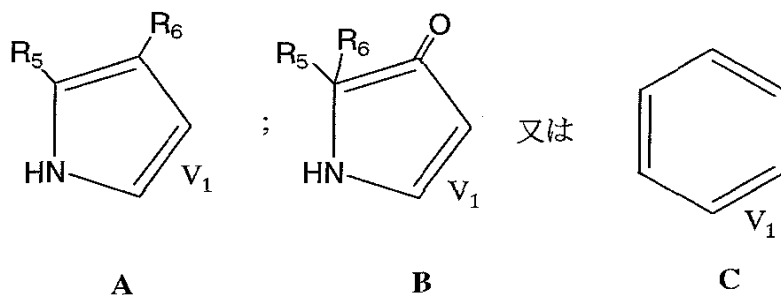
請求の範囲

1. 下記式で示されるが、(+)-CC-1065、(+)-デュオカルマイシンS Aまたは(+)-デュオカルマイシンAでないことを特徴とする化合物。



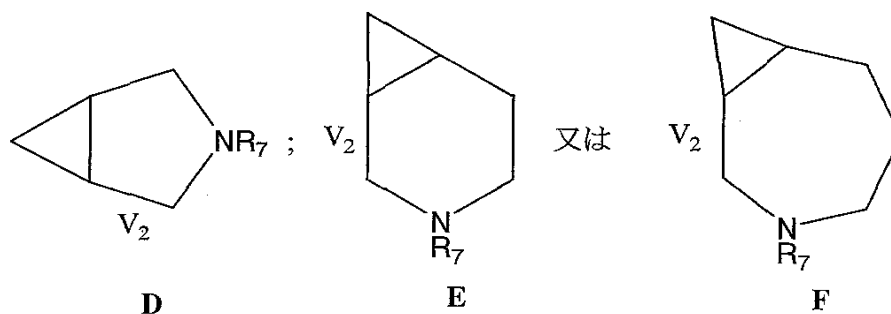
(式中、当該化合物は、 R_1 と R_2 との間で第一のビニレン基 V_1 をもつ第一の環と融合しており、

当該第一の環は下記構造A、BまたはCの1つであり、

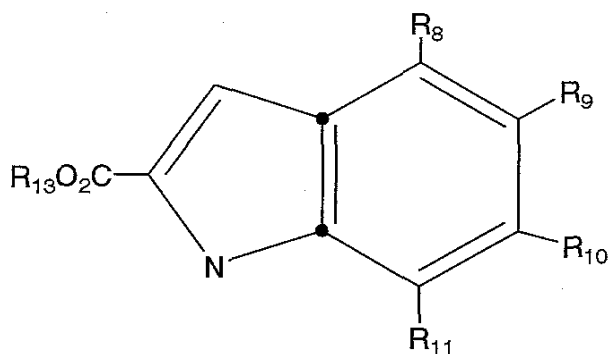


当該化合物はまた、 R_3 と R_4 との間で第二のビニレン基 V_2 をもつ第二の環と融合しており、

当該第二の環は以下の構造D、EまたはFの1つであり、



R_5 は水素、 $-\text{CO}_2(\text{C}_1-\text{C}_6(\text{アルキル}))$ または以下の構造Gによって表される基であり、

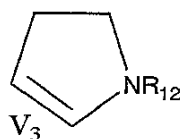


G

R_6 は水素または $\text{C}_1-\text{C}_6(\text{アルキル})$ であり、

R_7 は $-\text{H}$ 、 $-\text{CO}_2(\text{C}_1-\text{C}_6(\text{アルキル}))$ 、 $-\text{CO}(\text{C}_1-\text{C}_6(\text{アルキル}))$ 、 $-\text{CO}_2\text{-tert-ブチル}$ 、または $-\text{COR}_{14}$ であり、

R_8 は水素または以下の構造Hによって表される第一のN-置換ピロリジン環であり、該N-置換ピロリジン環は R_8 と R_9 との間で第三のビニレン基 V_3 において融合されており、



H

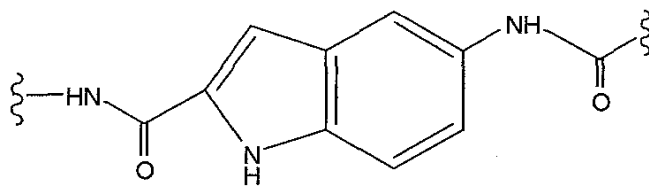
R_9 は $-\text{NH}-\text{C}(\text{O})-$ であり、

R_{10} および R_{11} はそれぞれ独立して水素、 $-\text{O}-\text{C}_1-\text{C}_6(\text{アルキル})$ または $-\text{C}_1-\text{C}_6(\text{アルキル})$ であり、

R_8 、 R_{10} および R_{11} がそれぞれ水素である場合は、 $-\text{NH}$ 基は R_9 位で直接Gに結合し、 $\text{C}(\text{O})$ -基は R_5 位で第一の環に直接結合しており、

当該第一のN-置換ピロリジン環基Hは、 R_8 と R_9 との間で第三のビニレン基 V_3 において融合しており、

R_8 、 R_{10} および R_{11} がそれぞれ水素である場合は、下記構造 I によって表され、



I

ここで、 $-NH$ 基は R_9 位で直接Gに結合し、 $C(O)-$ 基は R_5 位で第一の環に直接結合しており、

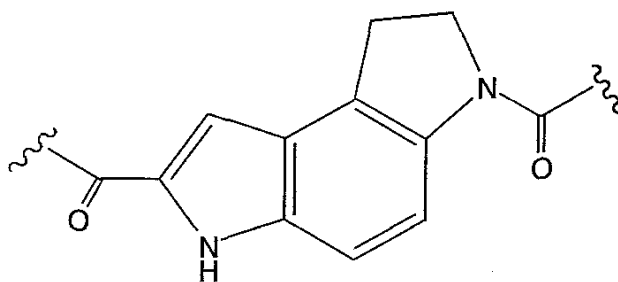
ただし、

R_8 が第一のN-置換ピロリジン環に加わっている場合は R_9 もまた第一のN置換ピロリジン環に加わり、

R_9 が第一のN-置換ピロリジン環に加わっている場合は R_8 もまた第一のN置換ピロリジン環に加わり、

R_8 および R_9 が第一のN-置換ピロリジン環に加わっている場合は R_{10} および R_{11} は水素であり、

R_{12} は $-C(O)-$ および下記の構造Jで表される二価の基であり、

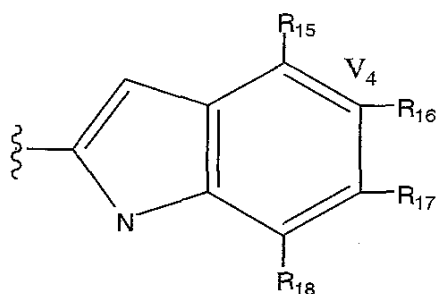


J

ここで、 $-C(O)$ 基は R_{12} 位でHに直接結合し、 $N-C(O)-$ 基は R_5 位で第一の環と直接結合しており、

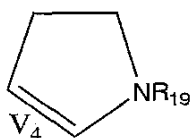
R_{13} は水素または C_1-C_6 (アルキル)であり、

R_{14} は水素、 C_1-C_6 (アルキル)、 $-O-(C_1-C_6$ (アルキル))または下記構造 K で表される基であり、



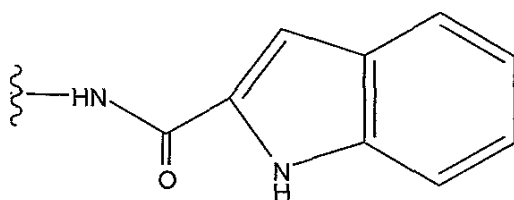
K

R_{15} は水素または下記構造 L によって表される第二の N-置換ピロリジン環であり、当該ピロリジン環は R_{15} と R_{16} との間で第四のビニレン基 V_4 において 融合しており、



L

R_{16} は $-O-(C_1-C_6$ (アルキル))、 C_1-C_6 (アルキル)、 NH_2 または当該第二の N-置換ピロリジン環基 L であって、 R_{15} および R_{16} との間で第四のビニレン基 V_4 において 融合しているものであるか、または下記構造 M で表される基であり



M

ここで、 R_{15} 、 R_{17} および R_{18} がそれぞれ水素の場合は、 $-NH$ 基は R_{16} 位で直接 K と結合しており、

ただし、

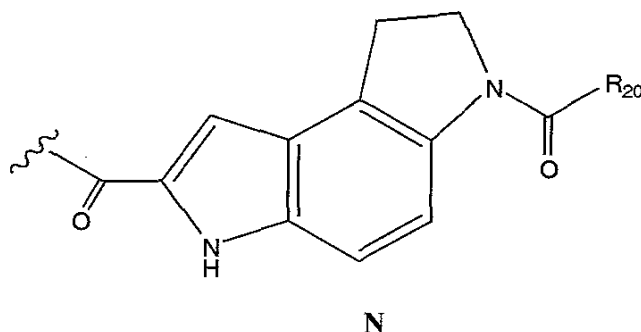
R_{15} が第一の N -置換ピロリジン環に加わる場合は R_{16} はまた当該第一の N -置換ピロリジン環に加わり、

R_{16} が第一の N -置換ピロリジン環に加わる場合は R_{15} はまた当該第一の N -置換ピロリジン環に加わり、

R_{15} および R_{16} が第一の N -置換ピロリジン環に加わる場合は、 R_{17} および R_{18} は水素であり、

R_{17} および R_{18} はそれぞれ独立して水素、 $-O-C_1-C_6$ (アルキル) または $-C_1-C_6$ (アルキル) であり、

R_{19} は $-C(O)-R_{20}$ または下記構造 N によって表され、



ここで、 $-C(O)$ 基は R_{19} 位で第二の N -置換ピロリジン環 L と直接結合しており、

R_{20} は NH_2 または $-O-tert$ -ブチルである)。

2. 第一の環として A 及び第二の環として D を有する、請求項 1 記載の化合物。
3. 第一の環として A 及び第二の環として E を有する、請求項 1 記載の化合物。
4. 第一の環として A 及び第二の環として F を有する、請求項 1 記載の化合物。
5. 第一の環として B 及び第二の環として D を有する、請求項 1 記載の化合物。
6. 第一の環として B 及び第二の環として E を有する、請求項 1 記載の化合物。
7. 第一の環として B 及び第二の環として F を有する、請求項 1 記載の化合物。
8. 第一の環として C 及び第二の環として D を有する、請求項 1 記載の化合物。

9. 第一の環として C 及び第二の環として E を有する、請求項 1 記載の化合物。
10. 第一の環として C 及び第二の環として F を有する、請求項 1 記載の化合物。